

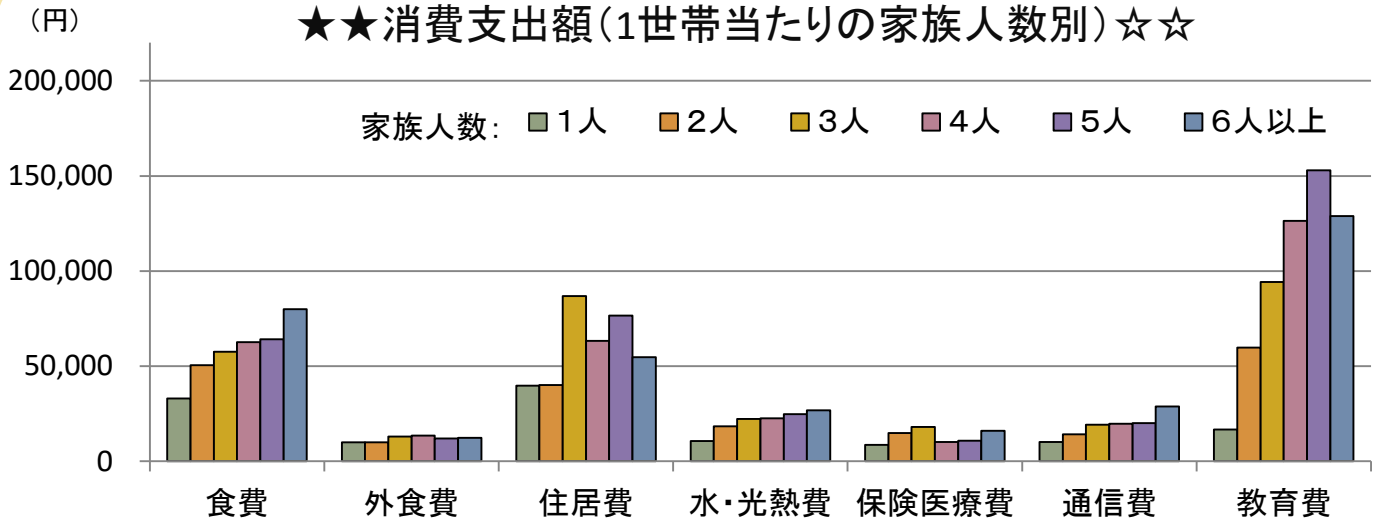
# 家計・くらしの調査の報告

## 4月分



4月分の結果をご報告します。有効回答数は1,085件でした。その内、20代が11件、30代が142件、40代が320件、50代が284件、60代が222件、70代以上が106件でした。今月もご協力頂きありがとうございました！

### ★★消費支出額(1世帯当たりの家族人数別)☆☆

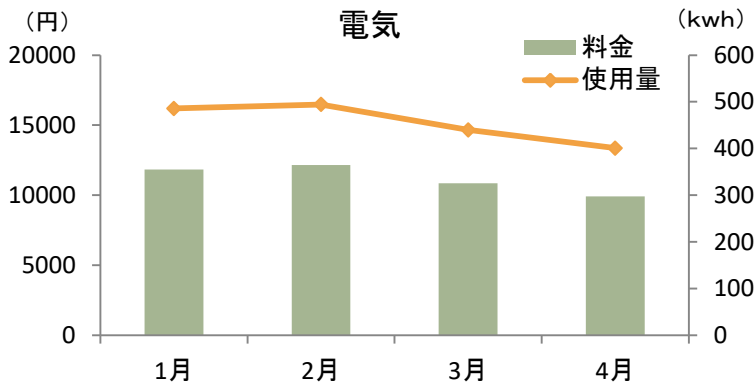


1人世帯の教育費が0でないのは、例えば孫の学費を負担した場合に教育費へ仕分けしている方も一部いるためだと思います。

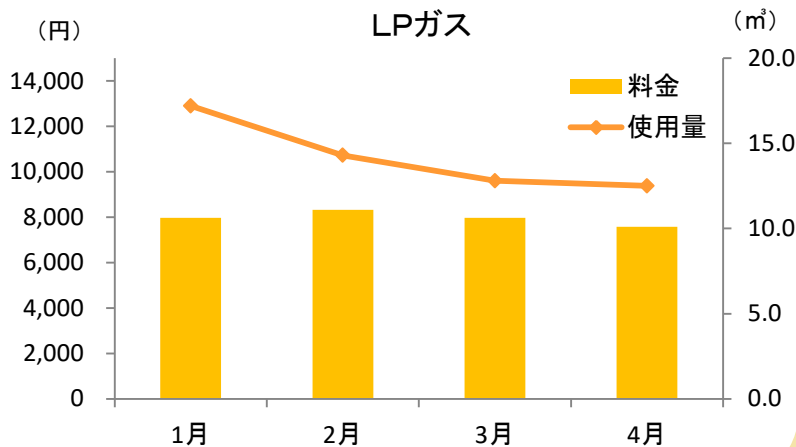
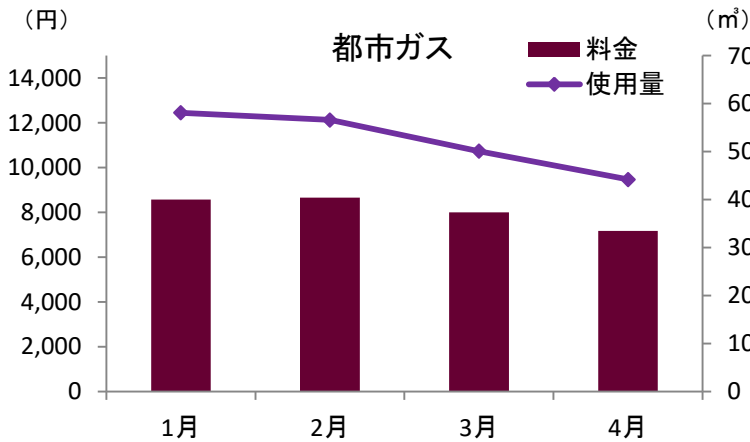
昨年との比較		食費	外食費	住居費	水・光熱費	保険医療費	通信費	教育費
1人	昨年	32,841	8,908	38,760	11,711	12,258	11,255	9,879
	今年	32,962	9,943	39,779	10,594	8,552	10,195	16,622
2人	昨年	51,388	11,802	47,416	17,553	20,699	14,991	80,494
	今年	50,584	10,016	40,111	18,330	14,865	14,239	59,741
3人	昨年	56,993	12,314	129,092	20,178	12,626	18,882	123,964
	今年	57,548	12,985	86,797	22,254	17,985	19,151	94,280
4人	昨年	62,488	12,729	79,261	21,106	11,891	19,579	122,196
	今年	62,626	13,479	63,273	22,509	10,079	19,799	126,329
5人	昨年	67,585	12,640	87,226	21,489	9,026	20,762	188,309
	今年	64,157	11,947	76,518	24,811	10,726	20,062	152,949
6人以上	昨年	80,624	12,895	60,896	28,935	11,673	31,067	137,727
	今年	79,984	12,300	54,643	26,839	16,081	28,885	128,896

消費支出の費目割合を世帯当たりの人数ごとに集計しました(グラフ)。食費については家族人数が多いほど多い傾向にある一方、外食費は世帯人数による差はあまり見られませんでした。住居費は家の修繕費が高額だったことが影響し、3人の世帯が高くなっています。水光熱費と通信費は食費と同様、世帯人数が多くなるにつれて高くなる傾向がありますが、保険医療費はその傾向が見られませんでした。また昨年と今年の金額を比較したところ(表)、ほとんどの項目において昨年と同様の傾向となりました。

## ★★電気・ガス料金と使用量の推移☆☆



電気使用量の平均は400.kwh、料金の平均は9,908円となり、使用料・料金ともに前月を下回りました。都市ガスの使用量平均は44.2m<sup>3</sup>、料金の平均は7,168円、LPガスの使用量平均は12.5m<sup>3</sup>、料金の平均は7,576円となり、こちらも使用料・料金ともに、減少傾向にあります。



## ★★今月の特別支出☆☆

母の日  
16,000円

中学制服代  
36,380円

次男の結婚関連  
300,000円

## ★★収支(総平均・年代別)☆☆

	総合	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
収入計	589,323	355,702	453,337	619,905	660,357	552,036	591,196
支出計	525,962	334,447	451,849	561,372	670,378	424,148	364,526
内消費支出計	375,127	242,833	316,171	390,884	477,025	307,414	289,065
内非消費支出計	150,835	91,614	135,677	170,487	193,352	116,735	75,461
収支	63,362	21,255	1,488	58,533	▲ 10,021	127,887	226,669

## ★★収支(総平均・年代別)☆☆

	総合	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
＜収入＞							
給料(夫)	418,120	265,946	352,982	443,776	507,284	305,825	138,294
給料(妻)	164,214	124,188	166,681	181,291	157,810	145,120	153,540
賞与(夫)	307,584	0	391,203	302,038	267,040	287,180	0
賞与(妻)	127,304	0	6,773	226,859	108,606	20,253	0
年金(夫)	321,817	0	28,817	188,745	148,300	301,947	384,700
年金(妻)	159,653	129,883	103,355	146,882	153,858	140,484	182,330
その他の収入	155,179	118,250	63,038	202,366	219,389	112,781	91,766
＜税金＞							
所得税(夫)	15,293	8,885	10,560	14,671	21,632	15,156	4,654
所得税(妻)	4,603	4,380	170	6,512	5,976	3,045	383
住民税(夫)	25,334	11,990	20,552	24,787	33,105	24,291	11,574
住民税(妻)	10,660	5,500	11,596	12,461	10,824	7,915	8,477
その他の税金	61,032	0	52,781	70,429	77,862	57,718	29,381
＜社会保険料＞							
健康保険(夫)	25,578	17,030	18,988	24,787	29,022	24,633	31,018
健康保険(妻)	14,389	10,763	13,772	15,391	15,441	12,295	14,489
厚生年金(夫)	41,242	29,829	37,319	41,281	46,600	34,771	28,654
厚生年金(妻)	24,157	21,960	26,099	25,388	24,161	21,187	18,434
雇用保険(夫)	1,775	969	1,438	1,751	2,179	1,308	1,264
雇用保険(妻)	815	700	634	1,128	640	566	839
国民年金(夫)	20,760	15,170	12,476	23,310	14,719	100,040	16,410
国民年金(妻)	48,657	0	10,723	91,434	15,213	52,129	0
国民年金(子)	118,242	0	3,000	106,458	144,486	50,458	0
＜私的保険料＞							
生命保険	27,915	15,360	26,305	32,392	31,370	23,705	12,339
損害保険	15,259	6,303	13,712	12,055	16,586	17,643	20,382
個人年金ほか	26,425	15,227	21,018	23,181	26,754	45,370	44,726
＜消費支出＞							
食費	57,746	38,253	47,517	59,583	61,107	59,513	55,223
外食費	12,235	14,314	14,684	12,665	12,707	10,043	9,979
住居費	64,828	69,078	80,000	70,822	72,229	45,418	25,076
水・光熱費	21,313	16,483	21,315	21,190	22,530	21,179	19,205
保健医療費	13,533	36,062	10,177	10,433	12,351	20,836	12,092
通信費	18,191	14,436	14,297	19,167	21,419	17,493	13,594
教育費	116,921	17,559	40,010	100,333	218,641	89,009	24,803
その他の消費支出	146,542	70,108	122,790	129,074	174,556	142,157	168,563

2018年4月分の報告書の「消費支出額(1世帯あたりの家族人数別)」において、一部集計の誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、集計をしなおしたうえで公開している報告書を差し替えました。ご迷惑おかけし、大変申し訳ございません。

# モニターさんからの声

働き方改革というが、夫は中間管理職の為その働き方改革から漏れる。10連休前半はどうにもならないと言い6:30から0:00までぶっ続けで働いていた。3日半の休みをふだんやすめない分ゆっくり過ごして欲しいと切に思った。旦那さん本当にお疲れ様です。そしてありがとうございます。体を壊さないでくださいね。

4月から66歳の夫が小学校の用務員として週5日仕事を始めました。私61歳も週3日から4日に仕事が増えましたが、お互い元気で仕事ができる事は、ありがたい事だと思います。生活のリズムも一定になり、ほど良い休みもあり、お互いちょうど良いペースだと思います。話題の食パン専門店が近くに開店し初めて予約して買いました。少しの楽しみも見つながら仕事ができる間は頑張ろうと思います。

主人と沖縄旅行をしてきました。沖縄研修道場・普天間基地・嘉手納基地・辺野古基地とめぐりました。平和を考える旅をしてきました。良い旅でした。

GWで散財してしまった。楽しかったけれど…

夫が62歳になり、年金の一部支給が始まった。これで完全リタイアまでに貯蓄を増やそうと考えたのもつかの間、派遣切りとなりました。生産量の減少に伴う人員調整ということですが、また求職活動です。有効求人倍率がプラスになっている？どこの国の話でしょう・・・という感じです。働き手が少ないので、外国人材を求め。でも実際には、働きたいのに働けない非正規労働者がいる訳で、なんとも不思議な気分です。ともあれ、新しい仕事が見つかるまでは、家計を引き締めて頑張るのみです。

平成元年6月20日、日本生活協同組合連合会の家計簿モニター、デビューしました。昨年からは、家計・くらしの調査モニターに。約30年間、家計簿記帳、データ提出しています。平成の30年間で、転勤族の31歳の主人、2歳8カ月と1歳4カ月の2人の息子たちの母の30歳の私は、第2の職場勤務の主人、4歳2カ月と1歳8カ月の2人の孫育てをするおばあちゃんの私に。どんなに、時代は変わっても、家計簿は私の心強いパートナーです。令和の時代も、家計簿記帳、家計・くらしの調査モニター、一生懸命がんばります。

乳製品の値上がりが、毎朝ヨーグルトを食べている我が家には影響大です。

消費税学習会や増税反対署名活動などが大きな声となってきました。家計簿をつけてほしいと訴えながら生活と向き合い未来を担う子供たちの明日に夢をつなげたいと願います。

3月中旬に、いきなり新中二の娘が塾を変えたいと言い出し、正直本気にしていなかったのですが、2カ所ほど体験に行き、今まで通っていた塾を辞めて、いわゆる大手の塾に通いだしました。しかも二カ所の塾を掛け持ちです。今までの塾は個人塾だったので、月8,000円でしたが、大手は、1カ所は年間で96,660円（これでも年払で若干安くなりました）と、もう1カ所は、月21,600円+半年分の諸経費47,647円で一気に支出が増えました。本人が行きたいというので、親は応援しなければとは思いますが、本人は医者になりたいとかいうわけでもなさそうなのに、正直ここまで教育費にお金をかけなくてはならないのかと疑問です。4月から息子が小学生になり、ようやく保育料から解放されて少しは貯蓄に回せると思ったら大間違いでした。